

SPODフォーラム2015全体アンケート集計結果

当日参加者数:488名
 SPOD加盟校から:286名
 SPOD加盟校以外から:202名

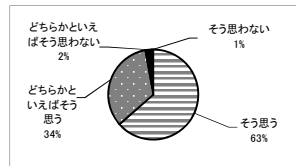
アンケート回答者数:181名
 回答率:37.1%
 回答期間:9/28(金)~10/2(金) ※フォーラム終了3週間後よりweb入力にて実施

1. SPODフォーラムでの研修成果について

【SPODフォーラムは全体的に満足できる内容であった】

	度数	割合
① そう思う	115	63.5%
② どちらかといえばそう思う	61	33.7%
③ どちらかといえばそう思わない	4	2.2%
④ そう思わない	1	0.6%
計	181	100.0%

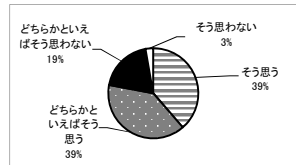
無回答 0



【所属組織を越えて人脈を広げることができた】

	度数	割合
① そう思う	70	38.7%
② どちらかといえばそう思う	71	39.2%
③ どちらかといえばそう思わない	35	19.3%
④ そう思わない	5	2.8%
計	181	100.0%

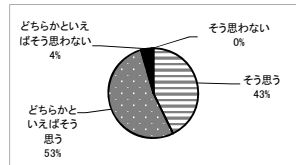
無回答 0



【自分に必要な知識やスキルを身につけることができた】

	度数	割合
① そう思う	77	42.8%
② どちらかといえばそう思う	95	52.8%
③ どちらかといえばそう思わない	7	3.9%
④ そう思わない	1	0.6%
計	180	100.0%

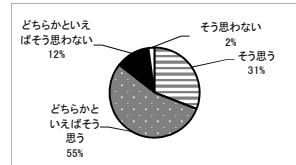
無回答 1



【業務や教育に対する意識や考え方が変わった】

	度数	割合
① そう思う	56	30.9%
② どちらかといえばそう思う	99	54.7%
③ どちらかといえばそう思わない	22	12.2%
④ そう思わない	4	2.2%
計	181	100.0%

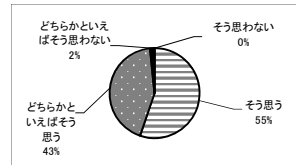
無回答 0



【業務や教育に積極的に取り組んでいきたいと思うようになった】

	度数	割合
① そう思う	100	55.2%
② どちらかといえばそう思う	78	43.1%
③ どちらかといえばそう思わない	3	1.7%
④ そう思わない	0	0.0%
計	181	100.0%

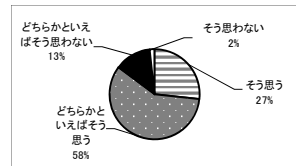
無回答 0



【フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や教育現場で実際に活用している】

	度数	割合
① そう思う	47	26.7%
② どちらかといえばそう思う	103	58.5%
③ どちらかといえばそう思わない	23	13.1%
④ そう思わない	3	1.7%
計	176	100.0%

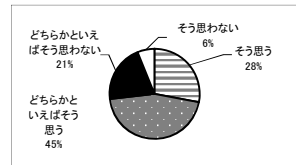
無回答 5



【フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や他の教員に伝達している】

	度数	割合
① そう思う	50	27.9%
② どちらかといえばそう思う	81	45.3%
③ どちらかといえばそう思わない	37	20.7%
④ そう思わない	11	6.1%
計	179	100.0%

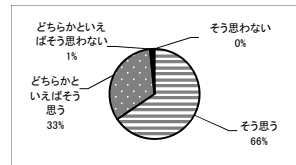
無回答 2



【今後もフォーラムをはじめ、SPODが提供するプログラムに参加したい】

	度数	割合
① そう思う	118	65.6%
② どちらかといえばそう思う	59	32.8%
③ どちらかといえばそう思わない	2	1.1%
④ そう思わない	1	0.6%
計	180	100.0%

無回答 1



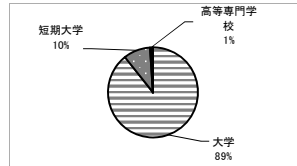
2. 感想、ご意見、ご要望等（別紙参照）

3. 参加者ご自身について

所属先

	度数	割合
① 大学	159	89.3%
② 短期大学	17	9.6%
③ 高等専門学校	2	1.1%
④ その他	0	0.0%
計	178	100.0%

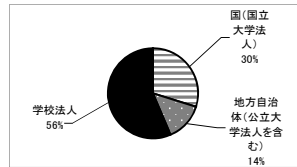
無回答 3



所属先の設置者

	度数	割合
① 国(国立大学法人)	54	29.8%
② 地方自治体(公立大学法人を含む)	25	13.8%
③ 学校法人	102	56.4%
④ その他	0	0.0%
計	181	100.0%

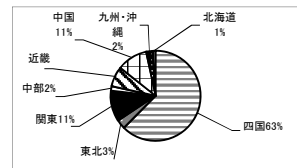
無回答 0



所属先の所在地

	度数	割合
① 四国	113	62.4%
② 東北	6	3.3%
③ 関東	20	11.0%
④ 中部	3	1.7%
⑤ 近畿	13	7.2%
⑥ 中国	20	11.0%
⑦ 九州・沖縄	4	2.2%
⑧ 北海道	2	1.1%
計	181	100.0%

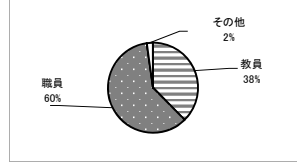
無回答 0



職種

	度数	割合
① 教員	67	37.6%
② 職員	107	60.1%
③ 学生	0	0.0%
④ その他	4	2.2%
計	178	100.0%

無回答 3

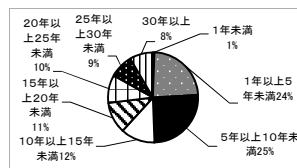


その他の記述内容（特任研究員, 契約職員, テニユアトラック教員, 嘱託職員）

大学教職員等の経験年数

	度数	割合
① 1年未満	1	0.6%
② 1年以上5年未満	42	23.6%
③ 5年以上10年未満	45	25.3%
④ 10年以上15年未満	22	12.4%
⑤ 15年以上20年未満	20	11.2%
⑥ 20年以上25年未満	18	10.1%
⑦ 25年以上30年未満	15	8.4%
⑧ 30年以上	15	8.4%
計	178	100.0%

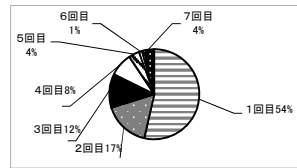
無回答 3



SPODフォーラムへの参加回数

	度数	割合
① 1回目	97	53.6%
② 2回目	30	16.6%
③ 3回目	22	12.2%
④ 4回目	15	8.3%
⑤ 5回目	7	3.9%
⑥ 6回目	2	1.1%
⑦ 7回目	8	4.4%
計	181	100.0%

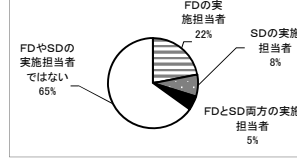
無回答 0



あなたはFDまたはSDの実施担当者ですか？

	度数	割合
① FDの実施担当者	39	21.9%
② SDの実施担当者	14	7.9%
③ FDとSD両方の実施担当者	9	5.1%
④ FDやSDの実施担当者ではない	116	65.2%
計	178	100.0%

無回答 3



SPODフォーラム2015 参加者からの要望等について

■開催時期／期間について

- ・業務の都合等で1日しか参加ができなかったため、3日間とも参加できるように連休中などの開催を希望します。
- ・職務の専門分野の他の研究会とバッティングしていて、なかなか参加しづらいという面があります。もう少し日程を前倒しするとかしていただければ、と思います。
- ・8月の末は他の研修とも重なり、どちらかを諦めざるを得ませんでした、9月の開催は難しいのでしょうか？

対応

過去の実績に基づき、教職員が最も参加しやすい夏期休業中の平日に開催している。なお、来年度は愛媛大学で8月下旬に開催する予定である。

- ・同時期に開催していた他の研究会と調整を行い、日程が被らないよう対応した。

■開催会場について

- ・もっと広い会場（教室）であれば良かったと思う。グループ同士の間隔が狭すぎて、会話しづらい場面もあった。
- ・グループワークの際に、周りの議論が白熱し、自グループの議論が聞こえにくいことが多々あった。難しいと思うが、教室の広さ（若しくは定員）を再検討してみてもどうか。
- ・全般的に会場が狭いと感じた。スケジュールもタイトであったので、移動時間を考えるとなるべく1つの建物の中で完結した方が良いのだと思うが、改善できるのであれば、空間に余裕がある方がありがたい。
- ・ポスターセッションの会場をもう少し広くし、発表者どうしの間隔を広くとっていただくと、ポスターを囲みやすく、見やすくなり、また近隣の発表者の声と重なって聞き取りにくいのを防ぐことができると思います。

対応

・会場確保の都合上、来年度も今年度と同じ法文学部講義棟をメイン会場として開催を予定している。各プログラムの定員数の見直しを行い、会場の規模に応じた定員を設定することで空間に余裕を持たせることを検討する。

- ・2日目（シンポジウム実施の日）に、講義形式のプログラムを設け、受け入れ可能な人数を増やすことを検討する。

■研修時間・開始時刻について

- ・初日の朝出発すると、開催時間に間に合うかどうかという時間帯であったためもう少し遅く始めると参加がしやすい。
- ・関西からの参加ですが、1日目の開始時刻をもう少し遅くしていただけると前泊の必要がないので、有り難いです。
- ・一つ一つのセミナーをもう少し時間をとって欲しかった。
- ・身に付けるためには少々時間が足りないので、もう少し（30分程度）時間を増やして欲しい。
- ・グループワークを組み込んでいたので同じグループの方とのディスカッションはすすんだが、他のグループの方とお話する時間が少なかったため、グループワークを取り入れている講座はもう少し時間が欲しかったと思う。

- ・全てのプログラムで参加者の方々と意見交換等を行える時間がほしかったです。
- ・グループワークやディスカッションのあるプログラムに参加したが、時間が足りないと感じた。ワークやグループディスカッションなどのあるプログラムは、2日目または3日目の9:00開始にする、2コマ連続にするなどして時間を確保する事を検討しても良いのではないか。
- ・ワークの時間をもっと増やしてほしい。他大学がどのように取り組んでいるのかを聞きたい。
- ・他校の取り組みはとても参考になったので、情報交換の時間が多いほうが良いと思った。

対応

- ・講義開始時刻については過去の実績に基づき設定しているが、四国以外からの参加者も増加していることから、できる限り考慮して開始時刻の設定を検討する。
- ・講義時間については、グループワークのあるプログラムは時間が足りないとの意見が多く、講義時間を長くしたり講師の時間配分を調整してもらったりするなど工夫できるところがないか検討する。

■プログラムの申込について

- ・SPOD加盟校の職員ではないからかもしれませんが、申込みが始まった直後に申し込んだプログラムの中でも受講できないものがありました。定員の拡大についてご検討いただけると幸いです。
- ・可能な申し込み時期でできるだけ早く申し込んだが、会員校でなかったため希望の講座に参加できなかった。
- ・SPOD加盟校以外であっても、ある程度希望するプログラムを受講できる枠を確保しておいてほしい。(申込み日に既にいっぱいとなっているものが多かったため)
- ・四国のネットワークなので加盟大学優先は理解できるが、各講座に一般枠を設けられると、他地区からも参加しやすいのでは。加盟大学以外が申し込める段階で、既に満席はがっかりしてしまう。特にポスター発表者は、会場へ出向くことを決めているので、講座申込段階で意欲が減退してしまう。
- ・プログラムの空き状況が不明瞭でした。

対応

- ・今回、加盟校限定の先行受付の段階では定員に達しなかったものの、一般受付開始後まもなく定員に達したプログラムもあった。今回は申込フォームのシステムの都合上、定員に達したプログラムの申込を締め切るまでにタイムラグが生じたため、申込フォームのシステム等を見直し、申込フォーム画面上で随時プログラムの空き状況を掲示したり、定員に達し次第自動的に申込を締め切ったりする等の対応を検討する。
- ・SPOD加盟校教職員は先行受付期間に申込ができるようになっており、期間内に申し込んだ加盟校の教職員はほぼ希望するプログラムを受講できるようになっている。ただ、近年加盟校外からの参加者も増加していることから、できる限り加盟校外の参加者も希望するプログラムを受講できるような工夫を検討する。
- ・キャンセル等により空きが生じたプログラムについて、二次募集を申込フォームで行う等の対応を検討する。
- ・「キャンセル等により空きが生じる可能性がある」旨、申込フォーム等に記載し事前に参加者にお知らせしておく。
- ・受講希望の多いプログラムについては、同内容のプログラムを2回実施するなどの対

応を検討する。

■シラバスについて

- ・講義を選ぶ時に見た資料の内容と、実際に行われた講義内容が、必ずしも一致していないものも、あったように思います。
- ・シラバスに記載する「対象者」や「内容」などをもっとハッキリとさせて欲しい。
- ・シラバスの内容をより具体的に。事前学習ができるようにデータの提供などを行う。

対応

- ・講師の選考を早めに行い、講師の方々には講義内容を十分検討いただいた上でシラバスを作成していただき、シラバスに沿った研修の実施をお願いします。
- ・講師の方々にはシラバスに記載する受講対象を明確に設定していただき、受講者にわかりやすい表現で記載する等工夫する。
- ・受講対象外の方から申込があった場合の受入可否について、講師の方に事前確認しておく。
- ・講義形式中心のプログラムについては、シラバスに講義形式の旨記載するようにする。

■広報等について

- ・受講申し込み時点で締切のプログラムがあったので、受けられなかったプログラムの資料等でも良いのでWEB等で閲覧できれば嬉しいです。
- ・このアンケートについて、教育等についてすでに積極的に取り組んできていて、今回のフォーラムでとくに意識や考え方が変わったわけではない場合の、適切な選択肢がない。また、これまでのフォーラムでの知見はすでに授業等に生かしているが、今回のフォーラムの知見についてはまだこれからのことだ、という場合に、「実際に活用している」との設問の回答がどちらのことかわからないなど、曖昧さが目立つ。一応回答したが、この結果がどのように利用されるのかを思うと、曖昧であり、今後もこのようなアンケートに協力できるかどうかはわからない。適切な設問の立て方と選択肢の設定をした方がよい。
- ・今年度参加者には来年度の案内をメールで送って下さい、四国以外の参加者です。

対応

- ・フォーラム終了後、掲載許可を得たプログラムの資料についてはSPODホームページに掲載しているが、申込時点で参加者がわかるように申込フォーム等にその旨記載しておく。
- ・ご指摘いただいたアンケート項目については改善することを検討する。
- ・SPODフォーラムの広報については毎年6月頃に全国の高等教育機関にチラシを配布している他、各種メーリングリストにて案内をしているが、更なる周知のために前年度のフォーラム参加者に対して、案内メールを送ることを検討する。

■運営上の要望について

- ・各講師お勧めの本が展示販売されているといいのではないかと思います。
- ・四国外からの参加だったので土地勘がなく、愛媛大学の正門の場所がわからずかなり迷った。当日は、路面電車の最寄り駅から看板を設置していただけたらありがたい。
- ・名刺を切らしてしまう方が多かったので、プリントできる設備・対応する窓口があるといいと思います。

- ・ 県外の方がお土産を買う場所を探していたので、受付付近で販売されてはどうでしょうか。
- ・ フォーラムの規模について、今回程度が適正であるように感じている。今年度が初参加であり、前回以前のことは分からないが、むやみやたらと拡大してフォーラムの質が低下することの無いように願いたい。

対応

- ・ 会場までの案内板の設置場所や、参加者に事前に案内する地図の表現等を工夫する。
- ・ 関連書籍等の販売については、過去の実績も考慮しつつ実施の有無について検討する。
- ・ お土産販売については、全体受付で参加者全員に配付したチラシにてご案内していたが、ご覧になっていなかった方もいたようなので周知方法を工夫する。
- ・ 名刺については、プリントできる設備等を用意することが難しいため、参加者への事前連絡の際に、参加者各自で名刺を多めに準備するよう依頼する。

■プログラム構成等について

- ・ 以前のように、もう少しFDプログラムがあっても良いのではないかと思う
- ・ 講義形式で単純に情報・知識を増やすことを重視した授業がもう少しあってもいいと思う。
- ・ 個人的には、知識修得型（講義型）のプログラムがもう少し多ければ嬉しい。
- ・ 必要に応じて、シリーズものや事前事後学習を取り入れて密度の濃い授業としてはどうでしょうか。
- ・ 現在は単発プログラム（導入編）が主となっておりますが、同一テーマによる3日間の集中講義プログラム（『高等教育の動向』『教授方法』『研究支援業務』）を組んでいただければ幸いです。
- ・ 先進的な内容が次々に開講されていく一方で、いったん乗り遅れると参加者のレベルについていけない場面もあります。これまで参加していない者にとっては、ますます気後れすることも考えられます。キャッチアップ講座のように、ざっと復習できる講座が時々入るのは、どうでしょう。今回、アクティブ・ラーニングの講座で、アクティブ・ラーニングに該当する授業方法を網羅してくださったのは、とても助けになりました。
- ・ 同じ講師が幾つもの講座を担当するのではなく、さらにバラエティに富んだ講師陣であれば、リピーターもさらに増えるのではないかと思う。
- ・ 書画カメラ等の活用。A3判程度の大きさの紙にワークで書かれた内容がスクリーンに投影できれば、受講者全員に見えていいと思います。
- ・ 開講してほしいプログラムについては別紙のとおり。

対応

- ・ FD対象，SD対象，種々テーマのプログラムが偏りのないよう考慮して構成しているが、さらに受講者に満足いただけるよう、できる限り要望を考慮してプログラム構成について検討する。

《開講してほしいプログラムについて》

アクティブ・ラーニング関係

- ・ 色々なアクティブラーニングの手法とその教育効果について、IR の初級編・入門編の次のレベルの内容のもの。
- ・ 今まで同様定番メニューも有りながら新しいアクティブ・ラーニングの手法なども少しずつ増やしてほしい。
- ・ アクティブ・ラーニングの具体的手法・効果についての紹介と、その課題解決を討議するワークショップ
- ・ 様々なアクティブラーニング手法の実例を体験できるようなプログラム。
- ・ アクティブ・ラーニングを実際に授業に取り入れてみたが、ただアクティブにはなっただけで、必ずしも学びが深くなったわけではないように思うこともある。また、学問領域や授業の性質によって、適した技法が異なる気もする。このように、実際にアクティブ・ラーニングを導入した際に生ずる様々な問題の解決のヒントになるようなプログラムがあればと思います。
- ・ PBL の実践例、教材例。

IR関係

- ・ IR については非常に興味を持っています。また、研究倫理に関する話題があるとうれしいです。
- ・ 教学 IR は今後も継続的に取り上げて欲しい。
- ・ データベースの作成、活用
- ・ 統計学の入門編。3日間あるので、初歩から始めても、集中講義のように講義とワークを組み合わせれば、簡単な手法や概念は学べるのではないかと。それに、持ち帰ってすぐに使うことができる技術でもあるし、期間中先生に質問もできるので、かなり学習効果が高いと思う。

障がい学生、学生支援関係

- ・ 障がい学生への対応
- ・ 障害学生のインターンシップ受け入れについて
- ・ 「発達障害学生への対応」、「退学者減少への取組み」等はいかがでしょうか。
- ・ アスペルガーなど発達障害のある学生への対応
- ・ 「学習支援の方法」「発達障害学生の種類、対応ケースの事例報告」など
- ・ 学習支援の発展的なメニュー
- ・ 就職困難学生の対応、ロールプレーを交えた研修

国際関係

- ・ 欧米の大学教育の先進事例
- ・ 大学のグローバル化
- ・ 新規留学プログラムの開発について
- ・ 留学生への研修について
- ・ 学内のグローバル化のための取組事例

知識習得系

- ・ 大学経営・大学マネジメント・教育（大学）に関する世界や国の動向についての授業
- ・ 経営改善計画（中長期経営計画）の取組みについて、特に、全学的に推進していくための体制作りについて。
- ・ 中教審答申などを含めた高等教育界の次の動向について“わかりやすく”我々は具体的

に何をした方がよさそうなのかをレクチャーしてもらいたい。

- ・自校教育について、基本を身につける教育、なども取り上げて欲しい
- ・高等教育の制度を正しく理解する講座。現場で望ましい対応をするためには、その基本を知っておかなければならない。特にブームで「〇〇を進めなければ」の前に、なぜ、そのようなことが求められるのか、が理解できないと場当たりの対応になってしまうため。基本は大事である。
- ・高等教育史、法令解釈に関するプログラムを開講して欲しい。
- ・高大接続改革について
- ・知的財産
- ・ダイバーシティ関連

スキル習得系

- ・授業評価アンケートの設計
- ・授業スキルにつながるような内容のものがほしい。長年出ていると新しいプログラムはSDになりがちなので。
- ・英語での教授法
- ・事務の実践スキル（メール照会のしかた、共有フォルダの作成法など）
- ・エクセル、ワード、パワーポイントの便利な機能や実践的な演習
- ・FDに参加しない教員へ向けての情報発信方法や意識向上のためのスキル
- ・ファシリテーションスキルについてプロから学ぶことのできるプログラム（1日ばかりでもよいので）
- ・学外活動の企画立案・運営など
- ・プロジェクトマネジメント（ルーティン業務ではない単発の事業の進め方）等

スタッフ・ポートフォリオ関係

- ・スタッフポートフォリオの作成プログラム
- ・スタッフ・ポートフォリオ
- ・メンター育成プログラム

その他

- ・授業コンサルティング導入にあたっての留意事項
- ・モデル授業参観
- ・学生の能力差が大きいにもかかわらず、能力別クラスにできないケースが多いです。この問題に取り組んでいる方がおられるならば話を聴きたいと思います。
- ・体系的な大学職員アドミニストレーター研修
- ・職員研修プログラム（他校の事例を交え、どのような研修が大学職員にとって最適か考える）
- ・若手教職員を対象としたプログラムをもっと増やしてほしいと思います。
- ・男女共同参画に関わるプログラムがあってもいい気がします。
- ・教学中心の講座となっているので、法人系も取り入れてもらいたい。
- ・インストラクショナル・デザイン
- ・LMSについて、一般論・単なる事例紹介ではない講義があればと思います。
- ・レディースワールドカフェ
- ・参加者の分野を緩やかに絞ったプログラム
- ・参加者の専門分野、校種をそろえたプログラム
- ・1H程度での同じテーマを持つ方々との意見交換ができるプログラムがあればいいと思う。
- ・ビッグネームの方も良いが、深く考え実際に活動、仕事をしている実務者の生の声を聞きたい